

《テーマ》

日本の地形や気候には、どのような特徴があるのだろうか？

☆確認！☆

①予習シートで調べてきたことを共有しよう！

Question	Answer
調べた都道府県はどこでしたか？	
都道府県の県庁所在地はどこですか？	
平均気温は何℃でしたか？	
どのような山や川がありましたか？	
名産品はなんでしたか？	

②これらを比較して、気づいたことをまとめてみよう。

■日本列島の位置と形はどうなっている？

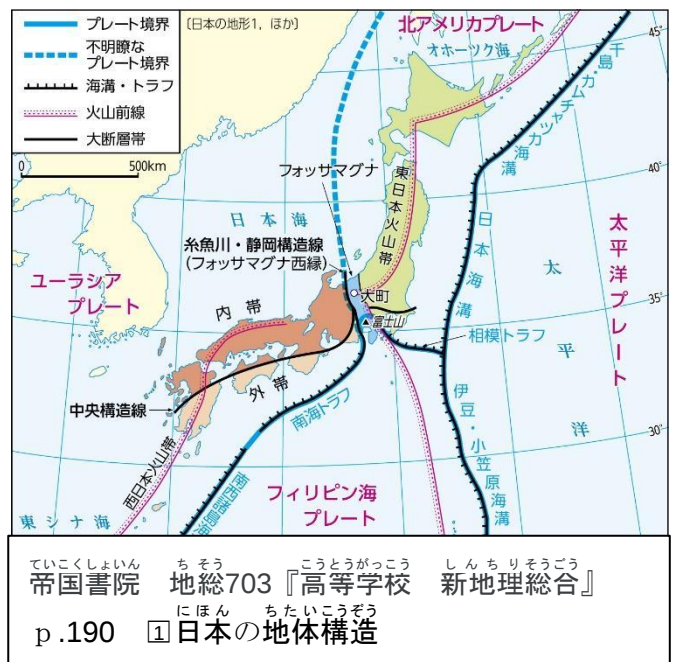
右の地図を見ながら、質問に答えてみよう！

Q1 日本列島はどの大陸と、どの海洋に挟まれている？

A1 (大陸)と(洋)に挟まれている。

Q2 日本列島に位置する4枚のプレートは？

A2



「日本列島の地形の特徴！」

①日本列島は、大陸のふちに位置する弓なりの細長い列島で、いわゆる(1)の形をしている。

②プレートが沈み込むところ…地下にマグマがしやすい！→(2)が多い！

③プレートの沈み込む圧力…(3)が発生！

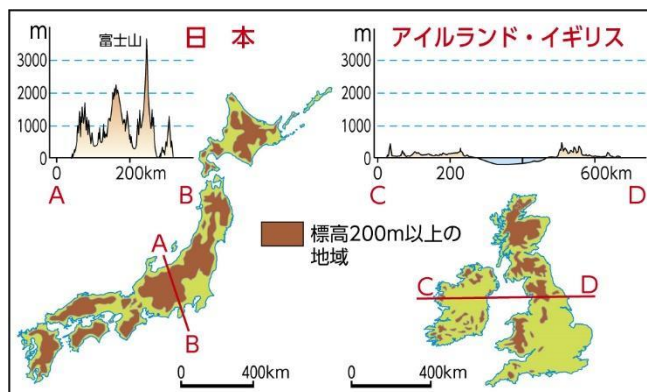
※(4)…本州の中央部を南北に縦断する地溝帯のこと。

→ この構造線を境に、東北日本と西南日本では地質が異なっている。

■日本列島の山地と河川

(1)日本列島の山地の特徴

①次の【日本とアイルランド・イギリスの地形の比較】の図を見て、気づいたことを空欄にあげてみよう。



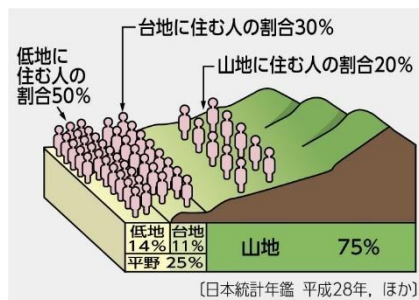
【気づいたこと】

帝国書院 地総703『高等学校 新地理総合』 p.190 ②日本とアイルランド・イギリスの地形比較

「Point」 世界と日本の地形を比較すると…

- ・世界の陸地に占める、山地の面積…(5)
- ・日本の陸地に占める、山地の面積…(6)！！

②次の【地形別にみた日本の人口割合】の図を見て、日本の人口はどのあたりに集中しているか、考えてみよう。

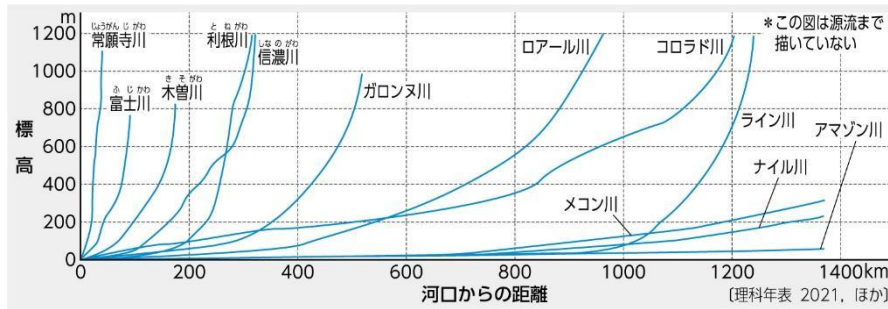


【気づいたこと・考えたこと】

帝国書院 地総703『高等学校 新地理総合』 p.190 ③地形別にみた日本の人口割合

(2) 日本列島の河川の特徴

次の【日本の河川と外国の河川の勾配】の図を見て、以下の解説文における、() 中の選択肢から、正しいと思うものに○をつけましょう。



ていこくしょいん ち そう こうとうがっこう しんちりそうごう p.191 日本 の 河川 と 外国 の 河川 の 勾配

【解説】

日本の河川は、アマゾン川やナイル川、ライン川など大陸の河川に比べると、全体の長さが非常に(長く ・ 短く)、勾配が(急 ・ なだらか)で流れも(速い ・ 遅い)。

※河川の流域で大雨！…水や土砂が山地から下流に一気に流れ込む

→洪水のたびに、山麓・河口付近を中心に土砂が蓄積…(7)が形成

⇒(7)は貴重な平坦地！：大都市・農地が広がる

■日本列島の気候

(1) 日本列島の気候の特徴

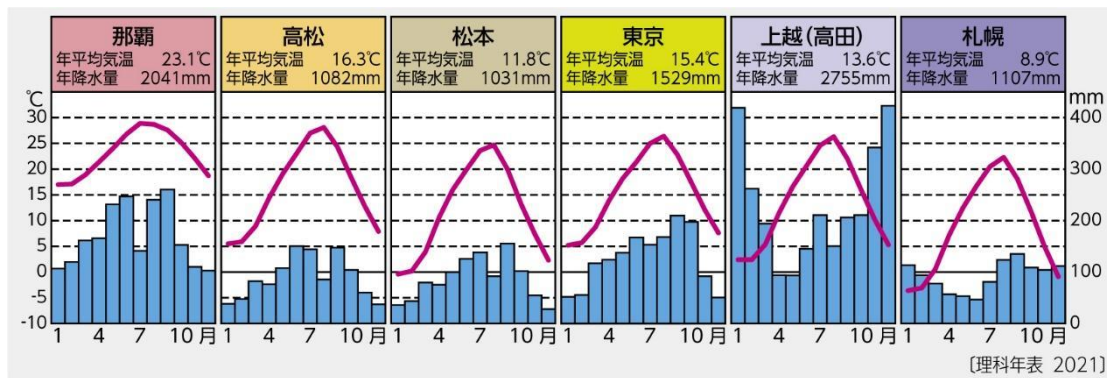
①(8) (モンスーン)の影響を受けて、季節の変化(= (9))がはっきりしている

→大陸の東側の中緯度に位置する島国であるため

②同じ季節でも地域によって気温に差がある

→日本列島は南北に長く、(9) (冷帯)から(10)までの気候が見られる

- ① 次の【日本各地の気温と降水量の雨温図】を見て、那覇・東京・札幌について、以下の表の空欄を埋めながら、比較してみよう。



ていこくしょいん ちそう
帝国書院 地総
703『高等学校
こうとうがっこう
新地理総合』
しんちりそうごう
p.192 ④日本
にほん
かくち きおん
各地の気温と
こうすいりょう
降水量

	な は 那覇	とうきょう 東京	さっぽろ 札幌
ねんかん へいきんきおん なん℃? 年間の平均気温は何℃?			
いちばんあつ とき きおん なん℃? 一番暑い時の気温は何℃?			
いちばんさむ とき きおん なん℃? 一番寒い時の気温は何℃?			
ねんかん こうすいりょう 年間の降水量はどれくらい?			

- ② 上の表を見て、気づいたこと・考えたことを以下の空欄に記入しよう。

(2) 季節における特徴的な気候

① 初夏…北海道を除いて(11)→雨がちな白が続く

② 初秋…(12)が暴風雨をもたらす。

あき ながあめ おとす
秋の長雨も訪れる

«Point» ひとびと せいかつ かわ
人々の生活との関わり

・ひとびと ほうふ みず りようして、ふるから(13)を

いとな
宮んできた

・これらの雨は、あめ すいがい
水害をもたらすこともある



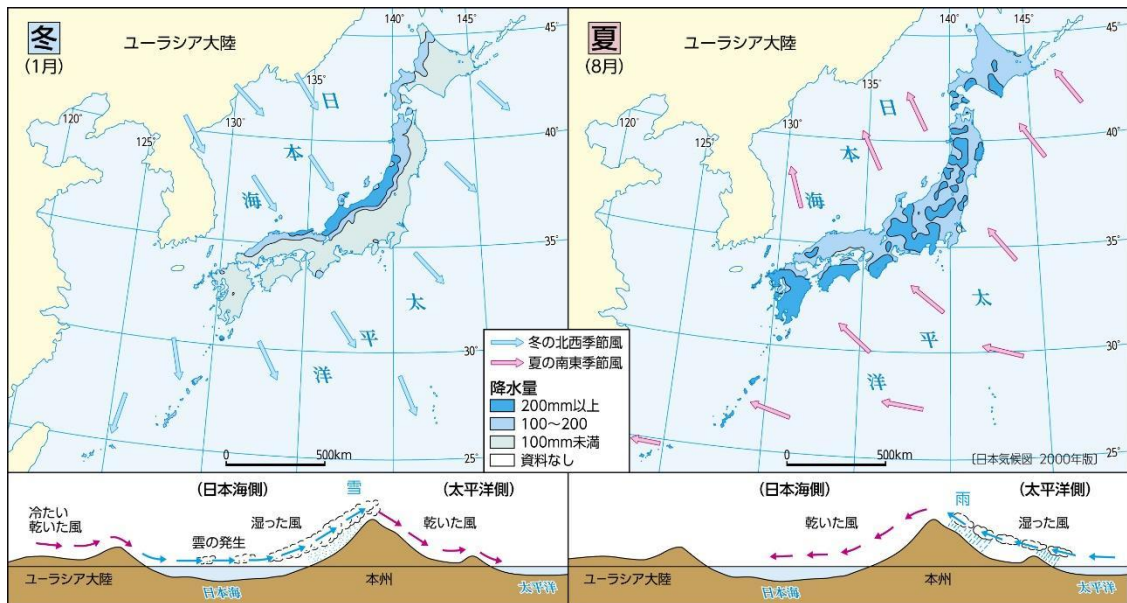
(3)日本の都市気候について

- ・都市では、自動車やオフィスなどから大量の人工熱が排出
 - ・地面はアスファルトやコンクリートなど、熱を蓄える性質の人工構造物で覆われる
 - 郊外と比べ、都心部で気温が島状に高くなる(14℃前後)が発生
- ※都市部で温められた空気…より強い上昇気流を生み出す！
- 局地的な大雨の一因となる

(4)降水量の地域差について

次の【冬と夏の風向きと降水量の季節変化】の図を見て、なぜ冬と夏で降水量の分布が異なるのか、

考えてみよう。その際、以下の解説文において、()の中の選択肢から正しいと思うものに○をつけよう。



ていこくしょいん ちそう こうとうがっこう しんちりそうごう p.193 ⑥冬と夏の風向と降水量の季節変化
帝国書院 地総703『高等学校 新地理総合』

【解説】

冬は(北西・南東)季節風の影響により、(日本海・太平洋)側で雪や雨が降りやすく、大雪による被害がもたらされることがある。

一方、山を越えた(北西・南東)季節風は(乾いた・湿った)風となるため、(日本海・太平洋)側では乾燥して晴れる日が多い。

夏は(北西・南東)季節風の影響により、(日本海・太平洋側)で雨が多くなる。

【まとめ】

日本列島の地形と気候に関して、あなたが気になったキーワードをそれぞれ一つあげましょう。

また、その理由を以下にまとめてみましょう。

地形で気になったキーワード：

その理由：

気候で気になったキーワード：

その理由：